

会 議 議 事 録

1 会議名	令和7年度長岡市教育委員会事務評価委員会
2 開催日時	令和7年7月3日（木）午前9時30分から午前11時30分まで
3 開催場所	さいわいプラザ 4階 教育委員会会議室
4 出席者名	（委員） 山田委員長 渡辺副委員長 武石委員 （説明のために出席した職員） 金澤教育長 星野子ども未来部長 金垣教育部参事 佐藤教育総務課長 野崎教育施設課長 大竹学務課長 中村学校教育課長 佐々木学校教育課主幹兼管理指導主事 小嶋学校教育課主幹兼管理指導主事 本間学校教育課主幹兼管理指導主事 梅沢中央図書館長 松木子ども政策課長 大久保こども家庭センター所長 江田保育課長 （事務局） 山内教育総務課長補佐 今井教育総務課庶務係長 鈴木教育総務課主任
5 欠席者名	曽根教育部長
6 議題	(1) 令和6年度教育に関する事務の管理及び執行の点検及び評価報告書について ア 教育委員会会議の開催及び審議状況等について イ 教育委員会における事務の点検・評価について (2) その他
7 審議結果の概要	資料に基づき、令和6年度に教育委員会が実施した各種事業等について、担当課長が委員に説明し、委員からの質問に回答した。

8 審議の内容	
事務局	1 開会
教育長	2 教育長あいさつ
事務局	3 事務局職員紹介
委員長	4 議事
委員	(1) 令和6年度教育に関する事務の管理及び執行の点検及び評価について ア 教育委員会会議の開催及び審議状況等について ・資料に基づき事務局が説明 ・質疑応答 (意見) 中学校の部活動改革は教育委員会として大きな事業だと思うが、教育委員会定例会でも定期的に報告がなされているということ、施設訪問も学校部活動の観点で行われていることが、しっかり取り組んでいる印象で良い。また、定例会の議事録が長岡市ホームページにきちんと公開されていることも素晴らしいと思う。
	イ 教育委員会における事務の点検・評価について ■ 4つの重点項目の取組状況及び今後の展望 【不登校支援の充実】 ・資料に基づき事務局が説明 ・質疑応答
	(意見) フリースクールの数も増えてきているが、不登校の理由も様々で、どういう場所が合うのかは子ども個人の感覚によって違う。知人の子どもで、集団の中での活動が合わず個人が自宅で家庭教師のようなことをやっているところへ通っている子がいる。事業目的にある「フリースクール等関係機関と連携した取組」の中に、個人の受入先があることも念頭に置いて取り組んでほしいと思う。
事務局	(回答) 現段階では個人の活動について把握していないため、今お聞きした事例を参考に研究しながらニーズを確認し、こういった支援につなげられるか検討したい。
事務局	(回答) 長岡市の連携会議には大人数対象のフリースクールが入っているが、連携会議の目的は、最終的には受け入れ側と学校がつながり、活動について共有できるようにすることである。その事例の個人の方は、学校とのつながりはあったのか。

委員	(回答) 保護者から学校に報告がいていたようである。
委員	(意見) 宮内中学校区で、昨年从不登校生徒の親の会が始まった。保護者の相談先やサポートがあることで子どもと向き合えるようになるので、そういう取組が増えてほしい。長岡市は子どもが生まれた時から 20 歳まで、関係機関で連携して一生懸命支援に取り組んでいることが伝わっている。今後も、子どもたち一人ひとりに寄り添ってほしいと思う。
事務局	(回答) 長岡市では「保護者のつどい」を定期的開催し、学校を通じて案内している。宮内中学校区での取組も、好事例として今後の取組に活かせるよう検討したい。
委員長	(意見) 不登校の子どもたちの生き方を認め、見守っていくという流れがある一方で、不登校を生まないようにするという流れも学校にはある。この 2 点をバランスを取りながら両立することに難しさを感じる。また、不登校の子どもたちがその後、引きこもりにならないような支援のために各所との連携や情報交換も必要であると思う。
委員長	(質問) 新たに設置されたほっとルームと、従来からあるフレンドリールームの違いは何か。
事務局	(回答) フレンドリールームは、学校と同様の時間割で本人がやるべきことを選択して行う中で、集団と係る場面も作り、支援を行っている。 ほっとルームは、子どもの実情に合わせて個人で好きなことに取り組むのが中心で、集団と関わることは少ない。
委員	(質問) 保健室登校は今も行われているか。
事務局	(回答) 原則、必要があれば校内教育支援センターにて対応している。保健室は保健室としての機能を使えるようにしている。
委員	(質問) 同じ校区の人に知られたくないため、違う校区の支援センターを利用することはできるのか。柔軟に対応できると良いと思う。
事務局	(回答) 今後の利用実態やニーズを調査して、違う校区での利用を拡大できる体制を整えられるか検討していく。
	【オール長岡で部活動地域移行を推進】 ・資料に基づき事務局が説明 ・質疑応答

委員長	(質問) 私は卓球協会に所属しているため卓球の部活動地域移行に関わっている。 5月に予備調査で土日に部活動している子どもたちの人数を把握し、指導者の配置を行ったが、人数が予想より少なくて驚いた。時代の流れもあるかもしれないが、学校ごとの部活動地域移行の受け止め方に差があるような印象を受けたが、事務局として感じていることはあるか。
事務局	(回答) 地域クラブの仕組みについての理解がまだ十分でないと感じる学校もある。6月に、4月に市外から転入した校長や希望する教員を対象に、部活動地域移行について改めて説明した。9月から地域クラブが動き出し、実際の活動状況が見えてきたら、さらに理解が深まっていくと考えている。
委員長	(意見) 長岡市スポーツ協会の広報用ホームページ「ながスポマップ」の中で、地域のジュニア卓球チームが情報を提供してPRしてもらえたことを指導者が喜んでいたことをここに報告する。
事務局	(回答) 地域クラブの参加者の希望は、仮申込みの段階では、中学校での部活動経験がある2年生より、若干新1年生の方が多かった。これから活動が始まると、参加者も増えてくるのではないかと思っている。 受け止め方の差については、学校間というよりは、部活の顧問をしている教員の理解や思いが反映されている部分があると聞いている。
委員	(意見) 保護者としては、土日も部活動をするのが当たり前と考える人が多いのではないかと。また、土日も部活動するのは熱心な子どもたちで、単にスポーツすることを楽しみたい層は対象としていないのではないかと心配する保護者もいると思う。地域クラブの実態について、保護者の理解を得るためのアプローチも必要かと思う。
委員	(意見) 「こめぷら」を保護者も見ることが増えていると思うので、「こめぷら」で情報発信することも効果的だと思う。
	【発達など配慮が必要な子どもと保護者への切れ目のない支援体制の強化】 ・資料に基づき事務局が説明 ・質疑応答
委員長	(質問) 「こどもすこやか応援チーム」と「みらいのたねサポートチーム」との関りはどうなるか。 また、保育園から小学校、中学校に上がっていく中で、子どもたちの支援の履歴を知る手段として「すこやかファイル」があると思うが、その活用の現状を教えてください。
事務局	(回答) 令和6年度までは、「こどもすこやか応援チーム」をこども家庭センターに置き、相談・支援業務を行っていた。元々保育課にあった組織のため、

	保育園への支援のイメージが強かったことから、令和7年度から「みらいのたねサポートチーム」に名称を変更し、学校に上がってからも切れ目なく支援を実践する体制とした。 「すこやかファイル」については、現在も運用している。これは保護者が管理をするものなので、学校に共有するかどうかは保護者に委ねられている。「すこやかファイル」の内容などについては、子どもへの適切な支援のため、より活用しやすいものになるよう、関係者で現在見直しを進めている。 【E d u－D i v e r 構想の推進】 ・資料に基づき事務局が説明 ・質疑応答 (質問) 元教員として、授業イノベーションに基づく授業改革は、全ての授業で行われるべきかは疑問がある。例えば数学の授業で、毎時間授業イノベーションの発想で取り組む必要があるのか。単元や教科によって変わると思うが、量的な部分の授業イノベーションがどの程度必要なのか、現場に周知をする必要があると思うがいかがか。 (回答) おっしゃるとおり、G I G Aスクール構想が始まった当初、端末をいかに使うかという視点で進めてきたが、数年取り組んでいくうちに、I C Tを使うだけが授業ではない、という考えに変わってきている。 I C Tを使うために授業をするのではなく、よりよい授業をするためにI C Tを活用するという視点で共通理解を図りながら進めていきたい。 (質問) 「こめぷら」の活用が進み、保護者としても学校での活動がわかるようになってとても良い。その中で、M－ステージに動画をアップする学校に少し偏りがあるように感じる。それぞれの学校で様々な取組をされていると思うが、掲載のバランスの調整はしているのか。 (回答) 学校の状況により、取組に差があるのが現状。今年度から「こめぷら通信」で過去の取組を紹介しているので、M－ステージの取り組み事例も周知しながら、今後の活用を増やしていきたいと考えている。 ■教育委員会の実施した事業の点検・評価について 【施策1 郷土愛の醸成による人材の育成】 ・資料に基づき事務局が説明 ・質疑応答
委員長	
事務局	
委員	
事務局	

委員	(質問)「ながおか学」について、今後の取組として冊子をデジタル版にするとあるが、紙での発行はなくなるということか。
事務局	(回答) 紙での発行はなくなる。1人1台端末が定着したため、デジタルでの活用をしていきたい。
委員長	(質問) コミュニティ・スクールの学校運営協議会と保幼小中連携推進会議は、内容や構成メンバーが似ている場合があるのではないか。同じような内容を議論していると思うが、整合性等の調整は図られているか。
事務局	(回答) 学校運営協議会の委員は、地域のコミュニティセンター長等をお願いしており、保幼小中連携推進会議は、各小中保育園の先生方に入っている。メンバーは若干異なる。会議内容について明確に調整は図っていないと思われる。現状を確認し、検討したい。
	【施策2 保幼小中連携による一貫した教育の推進】 ・資料に基づき事務局が説明 ・質疑応答 なし
	【施策3 オール長岡で子どもを育む教育の推進】 ・資料に基づき事務局が説明 ・質疑応答
委員	(質問) スクール・サポート・スタッフ（SSS）の成果等について、25校中18校で時間外勤務削減の効果があったということだが、残りの7校はなぜ効果を得られなかったのか、分析はあるか。
事務局	(回答) 生徒指導の状況が学校によって異なるため、時間外勤務の削減にも差が生まれた。児童生徒と向き合う時間の確保という観点においては、効果があったと考えている。
事務局	(意見) 長岡市内で車いすバスケのチームが活動を再開した。そこでは健常者も受け入れて、ハンディをつけて一緒にバスケをしているそう。車いすの児童生徒や運動に苦手意識のある子どもにもできることを探して、そういった活動の場があることを、情報として念頭に置いてほしいと思う。 【施策4 子ども・子育て支援の充実】 ・資料に基づき事務局が説明 ・質疑応答

委員	(質問) 令和7年度から児童クラブの運営が全て委託化されたことについて、保護者の意見のアンケート等を行っているか。満足度等に変化はないか。
事務局	(回答) アンケートは現時点で行っていない。委託前から勤務していた職員の9割の方にそのまま勤めていただいているため、子どもや保護者にとっては環境に変化は生じていない。そういう点では、委託化に伴うご意見は今のところいただいている。
委員	(質問) 児童クラブを民間委託したことで、民間ならではの事業が展開できると思う。例えば、新潟市ですでに実施しているように、長期休暇には昼食を提供するなど、ニーズ調査を行う予定はあるか。
事務局	(回答) まず、料金の支払いにキャッシュレス利用が可能になった。また、7月からは入館システムを導入し、保護者に子どもが児童クラブに来たことがわかるようになった。昼食についても、今後の検討材料として委託先と協議していきたい。その際には、保護者のご意見もお聞きしたい。
【施策5 質の高い教育を実現する教育環境の充実】 ・資料に基づき事務局が説明 ・質疑応答	
委員	(質問) 学校はプールの管理がとても大変だと思う。地域のプールを利用している学校もあるようだが、プール施設の利用について、今後統一していく方針はあるか。
事務局	(回答) 学校のプールについては、日常の管理も大変だが、プール施設自体の維持管理に非常に費用がかかっている。ろ過設備が故障したり、プールの内面塗装を補修したり等、年数が経っているため改修が多くなってしまいう。現在、大きな改修費用がかかるものについては、積極的には修繕しない方針である。そういった学校には、代替措置として地域のプール利用等をお願いしている。
委員	(意見) 学校によってはプールが道路に面していて授業の様子がよく見えてしまい、環境的な観点でも保護者としても気になる部分がある。総合的に維持管理について考えていただけたらありがたい。
委員	(質問) 小中学校の冷暖房は完備されたのか。
事務局	(回答) 普通教室については、整備が完了した。特別教室については、理科室と音楽室の整備を進めているところ。将来的には全校で設置を目指している。

委員長 委員 委員長	【6 長岡市教育振興基本計画に記載のない施策】 ・資料に基づき事務局が説明 ・質疑応答 なし ■長岡市教育振興基本計画に掲載した参考指標一覧について ・資料に基づき事務局が説明 ・質疑応答 なし その他、全体を通しての意見等はあるか。 (意見) 時代の変化として、ホームD XやA I の活用などがどんどん進んでいて、学校現場でも日々頑張って取り組んでおられる。今も先生方の学習の場はあると思うが、定期的に研修が受けられたり、情報が簡単に得られる方法があったりすると良いと思う。 (2) その他 ・事務評価委員の意見提出について 集約した意見の調整については、私と事務局とで調整するという ことでよいか。 異議なし。 5 閉会
(出席委員の署名欄)	
9 会議資料	